

なかよし学級 1 組（自閉症・情緒障がい） 国語科学習指導案

1 単元名 「見たことを、しらせよう」（書く）

2 単元設定の理由

【児童について】

○ 本学級は、1年生1名、6年生2名の計3名で構成されているが、本授業では、1年生1名、6年生1名を対象とした。（6年生の他1名は交流学級にて学習）

子どもたちは、日常生活の中で、したことや楽しかったことを話すことができる。しかし、したことや楽しかったことを文章にしたり、物事を順序よく書いたり、物事の様子を見て詳しく書いたりすることが苦手である。

そこで、生き物などに興味をもっているこの期に本単元を取り上げる。そして、生き物を実際に見たり触ったりして気付いたことを書いて、文の順序を考え相手に分かりやすく伝えることができるようにする。

	話すこと	読むこと	書くこと
1 年 A 児	たくさん話そうとするが、発音が不明瞭なため、聞き取れないことが多い。	ひらがなは読むことができる。1年生の教科書は、指で押さえながらひらがなを拾い読みする。	ひらがなを30字程度、書くことができる。言葉を考えて、手本を見ながら、丁寧に書くことができる。
6 年 B 児	興味関心の偏りが大きく、ゲームなど関心のある話題は積極的に話す。	2年生の教科書程度の文章は、ゆっくり読むことができる。内容理解も2年生程度である。	ひらがなや1年生程度の漢字を使いながら、二語文か三語文を書くことができる。



【教材について】

○ 本単元は、生き物を見たり触ったりすることで観察意欲を高め、気付いたことを書いて、相手に分かりやすく伝えることができるようにすることをねらいとしている。

○ 本教材は、生き物が大好きな子どもたちにとって、実物に触ることで興味をもって意欲的に取り組むことができる。活動の中で、様々な語彙を増やすことができ、分かりやすく書くことができるようにするのに適している教材である。また、進んで楽しくお家の人に伝えるのに有効である。

【単元全体では、こんな表現活動を】

○ 本単元では、「知らせたい」「見せたい」と思っているものを書いて知らせることができるようにする。そのために、実際に動物と触れ合うことで、様子を捉えやすくする。また、自分が書いたものを読んで相手が理解し、「見てみたい」と思ってくれるという喜びを体験させ、自信へとつないでいきたい。

【本時（3/6）では、こんな表現活動を】

うさぎを実際に見たり触ったりして観察して、毛の色や手触り、耳の形などうさぎの特徴や様子に細かく気付くことができるようにする。また、ことばカードをもとにして特徴を書くことで伝えたいことを発表することができるようにする。

3 目標

○ 生き物の特徴や様子に気付き、文章に書くことができるようにする。 ○ 実際に生き物を見て触って、伝えたい事柄を思い浮かべたり、相手に伝わるように順序を考えたりすることができるようにする。 ○ 興味をもって生き物を観察し、生き物の様子を意欲的にお家の人に伝えようとする態度を育てる。	(知識及び技能) (思考力、判断力、表現力)【書くこと】 (学びに向かう力)
---	--

4 単元計画 (全6時間)

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	1 地域で飼育してある生き物を見に行った時のことを想起して、めあてをつかむ。 ○ 見てきた生き物について発表をする。 ・ねこがいました。 ・くじゃくのはねがきれいでした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">単元のめあて おうちのひとに しらせたいいきものを、よく見てください。</div>	○ 前時の想起を促すために、生き物の写真を準備する。
つ く る ②	2 知らせたいものを実際に見たり触ったりして、観察したことを書く。 (1) 前時に出てきた言葉を想起させて、特徴を表す言葉集めをする。 A児・ねこのめは、まるいです。 ・にわとりは、しろでした。 B児・ねこは、ふわふわして気持ちよかったです。	○ たくさんの言葉があることを知らせるために、特徴や様子を表す(絵・ことば)カードを準備する。 ○ 言葉を引き出すために、簡単な身振りをする。
本 時 3 / 6	(2) うさぎを見たり、触ったりして気付いたことや分かったことを書く。(本時) ○ うさぎを見たり、触ったりして特徴を見つける。 ○ 気づいたこと、分かったことをメモに書く。	○ 興味関心をもたせて意欲的に学習をするために、うさぎを準備する。 ○ 言葉を引き出すために、前時に学習した言葉を掲示しておく。
深 め る ②	3 お家の人に伝えたいことを作文に書く。 (1) メモをもとに短冊カードに文章を書く。 ○ 書いた短冊カードを並び替えて、書く順序を考える。 (2) 並べ替えたとおりに作文を書く。 ○ 段落、句読点に気を付けて書く。	○ 文章にするために、前時のメモ(ホワイトボード)を準備する。 ○ 書くことができるように、簡単な文型を提示する。
生 か す ①	4 書いた作文を、大きな声で発表する。 ○ 書いた作文を発表し、友だちの作文のいいところを見付ける。 ○ お家の人に読んで知らせる。	○ 達成感を味わわせるために、発表が終わった時は拍手を送るようにする。

5 本時主眼

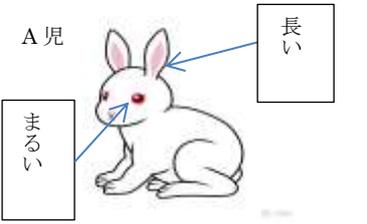
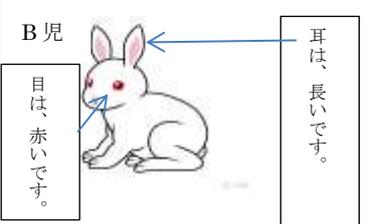
○うさぎをよく見て、気付いたことや分かったことをメモに書くことができる。

1年A児	色や形に気付き、言葉カードを選んで書くことができる。
6年B児	特徴や様子に気付き、言葉カードを選んで詳しく書くことができる。

6 準備

うさぎ・ことばカード・文のモデルシート・ヒントカード・うさぎの写真・ホワイトボード
がんばりカード・シール

7 展開

段階	学習活動と内容	主な支援
つかむ	<p>1 前時を振り返って、めあてをつかむ。</p> <p>○ 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">うさぎを見て、気づいたことをメモにかこう。</div>	<p>○ 前時の学習を想起できるように、前時に集めた言葉や写真を提示する。</p>
つくる	<p>2 うさぎの観察の仕方を確認し、学習の進め方を知り、観察する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>(観察の仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走って追いかけない。 ・大きい声を出さない。 ・優しく触る。 ・時間がきたら終わる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>(学習の進め方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察する。 ・言葉カードを選ぶ。 ・気付いたことを書く。 ・書いたことを発表する。 ・頑張りカードにシールを貼る。 </div> </div> <p>○ うさぎをよく見て、触って特徴に気付く。 (A児) ・うさぎの色や形に気付く。 (B児) ・うさぎの動きや様子に気付く。</p>	<p>○ 観察する視点を明確にするために、ポイントを知らせておく。</p> <p>○ 学習の見通しをもたせるために、観察の仕方と学習の進め方を提示する。</p> <p>○ 安全に観察ができるように、うさぎの扱い方について声かけをする。</p>
深める	<p>3 うさぎの特徴に気付きメモを書く。</p> <p>○ 気付いたことと同じ言葉カードを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉カードを見てメモを書く。 ・うさぎの写真にメモを貼る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>A児</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>B児</p>  </div> </div> <p>○ メモしたことを発表する。</p>	<p>○ うさぎの特徴の理解を促すために、うさぎの写真を提示する。</p> <p>○ 特徴や様子を書くことができるように、マス目のカードを準備する。</p> <p>○ カードを選ぶ時やメモを書く時に困ったら、ヒントカードで知らせるように声をかける。</p> <p>○ 不安を取り除くために、1人で発表することができないときは一緒に発表する。</p>
生かす	<p>4 今日の学習を振り返り、お互いの頑張りを認め合う。</p> <p>○ 今日の学習で、頑張ったところ、分かったところにシールを貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や形に気付くことができた。 ・様子や動きに気付くことができた。 ・メモを書くことができた。 	<p>○ 振り返らせるために、がんばりカード、シールを準備し、互いに称賛し合うようにする。</p>